

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※ 「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況(振り返り)」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	定期的な避難訓練は実施されているが、地域と連携したり、誰をどのように避難させるかなど、具体的なシュミレーションまではなされていない。	有事に備え、具体的な避難方法の確認を行う。	毎月のケア会議や、ミーティングでシュミレーションしておく。誰がどのように、どの順番で避難させるかなど具体的に想定し、マニュアル化する。	12ヶ月
2	48	「楽しみ」が持てるよう支援してきたが、全入居者が役割や楽しみを持っている訳ではない。本当の「思い」に触れているか疑問がある。	入居者1個人の「できること」を生かした役割や、「楽しみ」が持てるよう更に思いを引き出し実行できるよう支援する。	各居室担当者が中心となり、各入居者との会話、外出など個別支援の場を増やし、思いを引き出しやすい雰囲気づくりに努める。引き出した「思い」をケア会議で検討し、役割や楽しみとして計画、実行していく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。